

TALICA

取扱説明書 SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10	TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 埼玉営業所 〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1	TEL.(048)772-6662
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17	TEL.(03)3744-5656
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21	TEL.(052)331-8666
株式会社シマノ 大阪営業所 〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77	TEL.(072)223-3920
株式会社シマノ 中国営業所 〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18	TEL.(086)264-6100
株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1	TEL.(0875)23-2220
株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6	TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部
本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

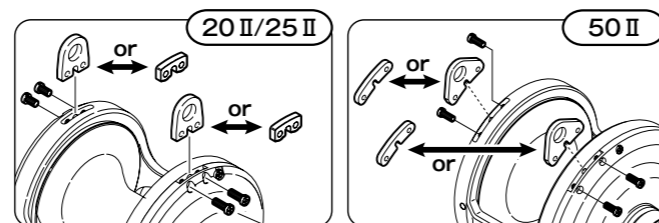
●商品の性能・スペック、カタログ、イベントや
アフターサービスなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハロー-イイサオ)

フリーダイヤルをご利用できない方は 072-243-8538 (有料) をご利用ください。
受付時間: AM9:00~12:00-PM1:00~5:00 (土・日・祝日除く)

■シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。
新製品情報、釣り情報など、フィッシングライブに役立つ、シマノならではの
オリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

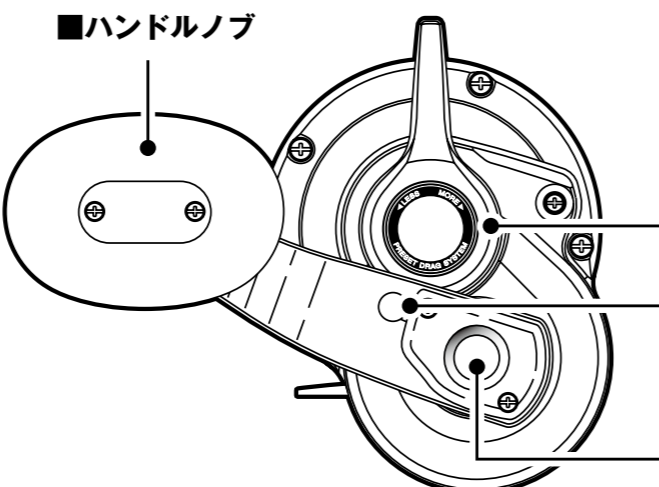
■各部の名称



■ハーネスプラグ

■スプール

■ドラグレバー



■ハンドルノブ

■ハンドル

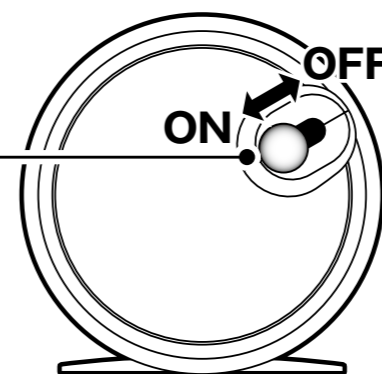
■プリセットツマミ

■ハイギア切替スイッチ

■ローギア切替スイッチ

■クリックスイッチ

クリックスイッチを左にスライドさせると、スイッチがオンになり、スプールが回転するとクリック音が出ます。魚が掛かるときの音で知らせてくれます。必要のないときはオフにしておきます。



※イラストは実際の製品と異なる場合があります。

●ドラグの操作

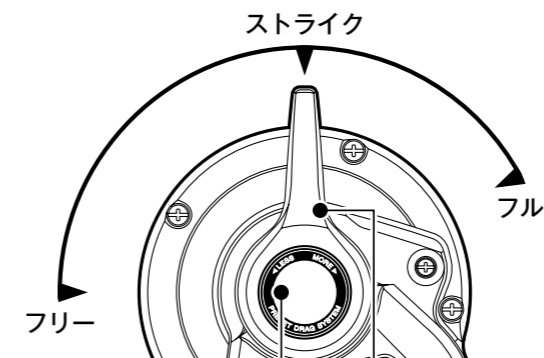
魚とのやりとりはドラグレバーで行ないます。レバーを一番手前（フリー）になります。（プリセットツマミを締めすぎるとフリーにならないので、ご注意ください。）糸を出すときは、このフリーの位置でおこないます。このとき、スプールが回りすぎてバックラッシュする場合は、人差し指と親指でスプールをはさむ様にしてサミングしてください。

レバーを上へあげていくとドラグが働きます。レバーは中央の位置でいったん止ります。この位置はストライクポジションです。魚とのやりとりは、この中央のストライクポジションと一番手前のフリーとの間で、レバーを動かしておこないます。ストライクポジションでのドラグ力以上の力が必要なら、さらにレバーを中央位置を超えて倒すと、ドラグ力を確保することができます。

●注意： ストライクポジションでプリセットツマミを回しますとリールにダメージを与える可能性がありますので、プリセットツマミを操作される際は常にレバーをフリーにしてください。

●スピールの糸巻量に対するドラグ力の関係

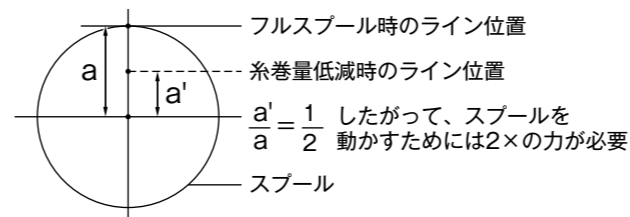
ドラグ力はスピールに巻かれている糸の量で変化しますので、ご注意ください。通常、スピールに糸を全て巻いた状態でドラグ力を設定します。ですがスピール巻かれている糸の量が減ると、ドラグ力は設定した値より上がっていきます。例えばスピール半径（右図 a）が 20 mm で 糸巻量低減時の半径（右図 a'）が 10mm だった場合を想定すると、糸巻量が低減した際にはフルスピール時に設定したドラグ力の値の約 2 倍となります。



■プリセットツマミ

■ドラグレバー

※イラストは実際の製品と異なる場合があります。



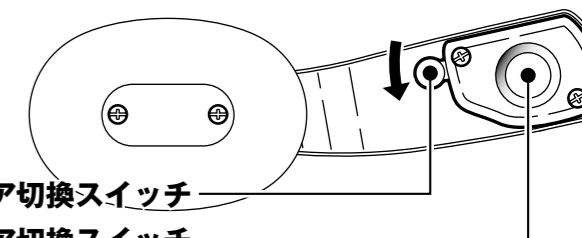
■仕様

機種名	TALICA II		
	20 II	25 II	50 II
品番			
ギア比 (ハイギア/ローギア)	5.2/2.3	5.2/2.3	3.8/1.7
最大ドラグ力(N/kg)	196/20	196/20	264.6/27
標準自重(g)	915	940	1588
ボールベアリング数	6 S A-RB	6 S A-RB	6 S A-RB
ローラーベアリング	0	0	0
最大巻上長 (cm/ハンドル1回転) (ハイ/ロー)	117 / 51	117 / 51	114 / 51
糸巻量(号-m) PE[パワープロ デブスハンター船]	8-445-10-365 12-300	8-625-10-510 12-400	8-940-10-770 12-625
ハンドル長(mm)	83	83	88
夢屋タイプハンドルノブ	B	B	-

- ドラグ力は最大締付力の値ではなく、レバーを一番手前（フリー）に戻した時にスプールフリーが保てる状態での最大値です。
- 製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 標準付属品 取扱説明書、分解図、ロッドクランプセット、リールレンチ、糸止めシール、ハーネスプラグ

●ギアの切り換え

ローギア切り換えスイッチを押すと、ギアがローギアに、ハイギア切り換えスイッチを押すと、ギアがハイギアになります。

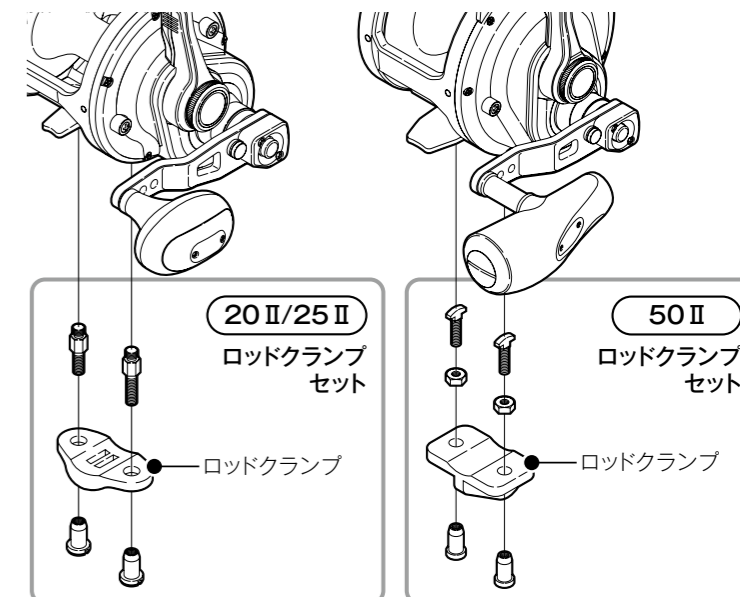


■ハイギア切替スイッチ

■ローギア切替スイッチ

●ロッドクランプの取り付け

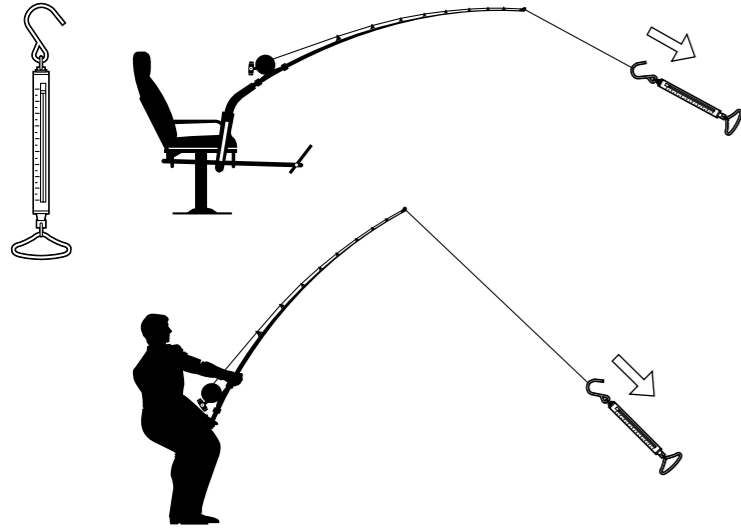
リールをロッドにセットし、ロッドをはさみこむようにロッドの下からロッドクランプをあてて、締め付けナットで固定します。



●ドラグ力の設定方法

1. ドラグレバーをストライクポジションにして、ドラグ力を測ります。
2. つぎに、レバーの位置を一番手前のフリーの位置にします。
3. ストライクポジションでのドラグ力を強くしたいときは、プリセットツマミを右に、弱めたいときは左に回します。プリセットツマミを右に回しすぎると、ドラグレバーがフリーの位置でもスプールがフリーにならなくなるのでご注意ください。
4. もう一度、ドラグレバーをストライクポジションにして、ドラグ力を測ります。以上の操作を繰り返してドラグ力を調整します。

ドラグ力測定の際は、リールをロッドにセットし、糸をガイドに通し、図のように、実際に魚がファイトする速度を想定して、バネバカリで測定してください。



●糸止めシールの使用方法

このリールにはPEライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PEラインをスプールに確実に巻くことができます。

1. PEラインのチチワをスプールに締め込みます。
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押してください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくと巻くようにします。)
4. PEラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。



TALICA

■メンテナンス方法

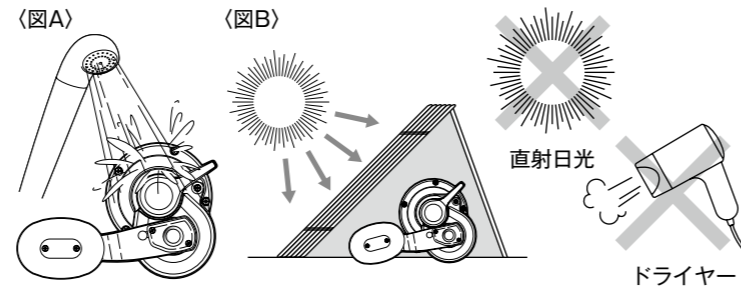
■海での使用後のご注意

本製品は海での使用を前提とした防錆処理を加えていますが、より長く性能を維持するため、以下のことにご注意ください。

- リールに付着した塩分、ゴミ等は真水に浸した柔らかい布できれいに拭き取って十分に乾燥させてください。いちじるしく海水が浸入したと思われる場合は、当社アフターサービスヘオーパーホールとしてお預けいただくことをおすすめします。

■海での使用後の基本的なメンテナンス順序

1. **水洗い**…ドラグをストライク～フルにしてから、シャワー等の真水で1～2分間水洗いしてください。(図A)
※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。
2. **乾燥**…直射日光を避けて陰干ししてください。(図B)
※この際、よく水を切った後、ドラグレバーはフリーにして乾かしてください。
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。
3. **注油**…後記「オイル・グリス注油箇所」の図で示す部分に、ごく少量注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。



●お願い

- リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に1度は



お預けいただくことをおすすめいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。

- リールを水没させ数時間放置しますと、ドラググリスが水に流れ出てしまいます。ご注意ください。
- オイル、グリス類は**当社指定のもの**(SP-003H、SP-013A、SP-023A、SP-015L)をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。
- 釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
- ハンドルノブには滑りにくい樹脂素材を採用していますが、油によって膨潤する場合があります。ベアリングのメンテナンスの際には、なるべく油分(オイルなど)が付かない様にご注意ください。また油分が付着した場合には、速やかに拭き取ってください。

●ベアリングの塩噛みについて

S A-RB(シールド耐塩水ベアリング)はベアリング本体、シールドともに錆びにくい物になっています。しかしシールドはベアリング内部に塩水が浸入して発生する『塩噛み』を完全に防ぐものではありません。ベアリング内部に塩水が浸入して乾燥すると、塩噛みを起こす場合があります。錆びている訳ではありませんが、同様に音なり、ゴロ付き等の症状が出る場合があります。その場合、S A-RBを取り出して真水で洗い流して塩抜きするか、S A-RBごと交換しなければ完全には解消出来ません。メンテナンスをお受けいただくことをお勧めします。

■水没した際の応急処置

1. **水抜き**…内部に侵入した水を抜いてください。
2. **水洗い**…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
3. **乾燥**…前記「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。
4. **注油**…後記「オイル・グリス注油箇所」をご参照ください。オイル・グリスの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。※長く噴霧させると逆流します。

■リールのお取扱上のご注意

本製品は精密部品で構成されていますので、下記の注意事項を守ってお取り扱いください。

■ご使用上の注意

- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
- 本製品は丁寧に扱ってください。移動時、特に乗船の時の投げ投げや、バッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
- 重量のあるリールですから、輸送・梱包にも十分ご注意ください。
- ドラグレバーをフリーにした状態ですすぎないでください。水がドラグ機構内に入る恐れがあります。

ご注意：ストライクポジションでプリセットツマミを回すことは、固くてできません。また、ドラグ力を高めに設定し、ドラグレバーを作動させますと、非常に重くなる場合があります。その際、作動させる指が滑り、リール本体エッジ部分で怪我をするおそれがありますのでご注意ください。

■お手入れの方法

- 各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイにふき取って十分に乾燥させてください。シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。
- リール本体の塗装面には傷をつけないようご注意ください。傷の部分から腐食するおそれがあります。
- リール本体からオイルがしみ出ることがあります。布袋に入れて保管することをおすすめします。
- 定期的にハンドル部、レバー部などに注油してください。

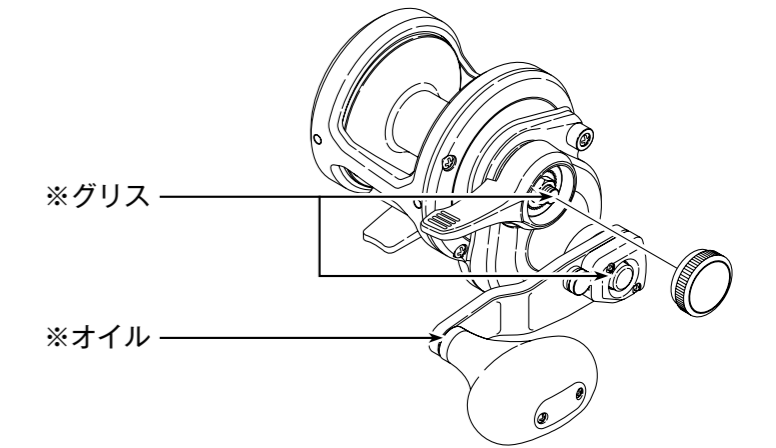
●お願い

以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く**当社のメンテナンス**を受けられるよう、**最寄りの小売店にお預けください。**

■オイル・グリス注油箇所

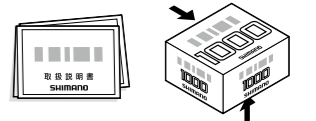
本製品の優れた性能を長く維持するために、図の※オイルの箇所にはシマノリールオイルスプレー SP-013A または SP-015L、※グリスの箇所にはシマノリールグリススプレー SP-023Aをまちがえないように噴霧してください。(シマノ以外のオイル・グリスは使用しないでください。オイル・グリスのセットSP-003Hもごさいます。)オイル・グリスはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

※ドラグカムを取り外したり取り付ける場合は、ドラグレバーを必ずフリーの位置にしてから作業を行ってください。(カムの溝とピンの位置を合わせてください。)



※イラストは実際の製品と異なる場合があります。

- 商品コード / 製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。



安全上・ご使用上のご注意 **ご使用前に必ずお読みください。**

⚠ 注意	
	●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。 ●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 ●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 ●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げ投げや、バック内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 ●キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。